



# 公明党議員会 会報

■発行日:2023年1月28日  
 ■発行:宇都宮市議会  
 公明党議員会  
 ■住所:〒320-8540  
 宇都宮市旭1-1-5  
 ■TEL:028-632-2620  
 ■FAX:028-632-5938



2022年10月14日 佐藤市長に予算要望書を提出

## 金沢 力 会長挨拶

現在、我が国においては、少子・超高齢化による人口減少、社会保障費の増大、物価高騰、さらに地球温暖化による大規模災害の発生など大きな課題が山積しております。

このような中、公明党議員会は、日常活動では徹底して現場の声を聴かせていただく「市民相談」に取り組み、いただいた現場の声を、一つでも多く政策実現できるよう6人の議員全員で協議し、力を合わせて議会活動の中で積極的に提案して参りました。

特にわが会派は、女性の視点・生活者の目線を重視し、物価高騰対策、子育て支援の拡充、高齢者・障がい者支援の充実など「福祉の党」として多くの実績を残すことができました。

今後とも、市民の皆様へ寄り添いながら市民の負託に応えられるよう全力で働いて参ります。



公明党議員会 会長 金沢 力

## 宇都宮市議会 令和5年度 予算編成に対する要望(抜粋)

### I「子育て・教育・学習」分野

#### 1. 児童虐待防止対策の強化

- 児童相談所の設置
- 子どもの権利条例策定のための協議会設置

#### 2. 教育の充実と生涯にわたる学習活動の促進

- 幼児教育を含む医療的ケア児・者への支援環境の整備促進
- 防災教育の充実
- ジェンダーフリー等多様性の人権教育の推進

#### 3. 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

- 子育て世代が仕事と育児の両立できる環境整備
- 男性の育児休業取得促進
- 不育症の治療費助成

#### 4. 不登校対策の強化

- フリースクール等多様な学びの環境整備
- 行政・学校・地域・民間などの連携強化



### II「健康・福祉・医療」分野

#### 1. 予防・検診・医療体制の充実

- ドクターカーの安定的な運用体制強化
- 带状疱疹ワクチン接種の助成

#### 2. 新型コロナウイルス感染症対策の強化

- 変異株対応ワクチンの接種促進と後遺症対策の強化
- 抗原検査を含む検査体制や医療提供体制の充実強化

#### 3. がん対策や健康増進のための環境整備

- 子宮頸がん予防ワクチンの積極的推進と9価ワクチンの助成
- マイクロ波マンモグラフィ等の導入推進

#### 4. 地域包括ケアシステムの構築

- AI、IoTを活用したケアプラン作成の支援
- 認知症予防対策の強化と認知症対策型通所施設・ホームの拡充



### III「安心安全・共働共生」分野

#### 1. ゲリラ豪雨・大型台風の対策強化

- 河道掘削・田んぼダムなど、田川・姿川の総合治水対策の推進
- 公共下水道雨水幹線の整備など冠水対策の強化

#### 2. 複合災害における危機管理体制の整備

- 災害協定の推進と備蓄品の確保(ダンボールベッド・災害用トイレ等)
- 避難所における換気設備の設置推進



### IV「魅力・交流」分野

- 清原球場の大規模改修
- ブレックス新アリーナ整備への積極的支援
- 大谷地域の観光インフラ整備と情報発信の強化

### V「産業・環境」分野

#### 1. 地域経済の活性化

- 宇都宮市中央卸売市場再整備事業による観光拠点化の促進
- 新たな工業団地の早期事業化

#### 2. 新たな企業誘致と雇用の促進

- サテライトオフィスの誘致を推進
- 女性デジタル人材の育成推進

#### 3. 持続可能な魅力ある農林業の推進

- 森林サービス産業の推進
- ICTの活用でスマート農業・林業の推進

#### 4. SDGs未来都市の実現

- ゼロカーボンシティの実現に向けた再生可能エネルギー導入推進
- 家庭向け低炭素化普及の為の機器購入費助成拡充
- 下水汚泥のさらなる肥料化と活用促進



### VI「都市空間・交通」分野

- 宇都宮駅西側のLRT整備計画の策定と東武鉄道との効果的な結節
- 多様なニーズに対応した東部総合公園の整備推進
- LRT・バス・地域内交通における乗り換え運賃上限500円の実現
- 交通ICカードを活用した割引制度の推進(子ども・学生・高齢者等)
- ICTを活用したシェアサイクルの導入推進



### VII「強固な行政基盤」の確立

- マイナンバーカードの普及・利活用による窓口の一本化と申請業務の迅速化
- 行政のデジタル化とAI活用による行政サービスの高度化



### 人が集う、新しい県都の顔

LRTの起終点となるJR宇都宮駅東口停留所の周辺には、交流拠点施設(ライトキューブ宇都宮)や複合施設(宇都宮テラス)などが整備されました。

## 佐藤市長新春記者会見 令和5年1月4日(抜粋)

**公明党議員会が一般質問や予算要望書で求めた項目が反映されました!!**

主なものをご紹介します。

- 物価高騰対策の実施 第2弾水道料金の基本料金(2月3月請求分)の免除
- 「こども家庭センター」の設置 妊婦や子育て家庭、ヤングケアラーなどを包括的に支援
- 「児童相談所」設置に向けた検討
- 本市初となる「年間を通した待機児童ゼロ」の達成
- 「共生型の相談窓口」の設置(市内30か所)  
子ども、高齢者、障がい者など、世代や分野を超えた市民の困りごとを丸ごと受け止める
- 「宇都宮ブレックス」の新たなアリーナ整備に対する支援
- 公共交通ネットワークのグリーン化を目指したバス・地域内交通などへの電動車の導入支援制度の創設
- LRT・バス・地域内交通の乗継割引(500円以内)の実施



## 成島隆裕議員12月一般質問



《質問項目》

①文化芸術と産業経済との創造性に富んだ創造都市への取組②災害対応力の強化③安心して働くことのできる環境と機会の創出 ほか

**問** 「子育てDX」等の推進と「リトルベビーハンドブック」の作成は

①市では、「宮つこ子育てアプリ」が導入されたが、さらなる充実を図るため、緊急災害発生時などにも質の高いオンライン相談を行うことができる「母子子育てDX」などを速やかに導入すべきと考えるが、どうか。

②現在およそ10人に一人が低体重の出産である現状を考え低体重で生まれた赤ちゃんを育てる親を支え、成長を記録でき、温かみのある冊子「リトルベビーハンドブック」をつくる必要があると考えるがどうか。また、県との共有化を図る考えであれば、積極的に連携を取り、早急を実現してほしいと考えるがどうか。

**答** 子育てDXの検討と、県冊子を早期配布する

①子育てDXは、子育て世帯の負担軽減にも寄与するものと考えるところから、子育てDXの導入を含めた「宮つこ子育てアプリ」の機能の拡充について、アプリのアンケート機能を活用し、利用者のニーズを把握した上で検討していく。

②市では、医療機関から支援依頼があった家庭などに、保健師が家庭訪問を行い発育のアドバイスをするなど継続した支援に取り組んでいる。現在、県において、リトルベビーハンドブックを作成中であることから、市では県の作成する冊子が完成次第、必要な家庭に配布していく。

## 菅野大造議員9月一般質問



《質問項目》

①駅東側におけるLRT事業②出産子育て応援交付金事業③特定空き家の解消と空家・空地対策の推進④子宮頸がん予防ワクチンの推進 ほか

**問** 宇都宮産業パーク整備促進補助金の特徴と活用に向けた取組は

4年8月に、地元組織や民間事業者による産業団地の開発誘導に向け、地区計画制度を活用した産業団地開発における道路や公園などの基盤整備への支援制度として、「つつのみや産業パーク整備促進補助金」が新たに創設された。

本制度が活用されるためには、まずは民間事業者などに知ってもらうことが重要であると考え、本制度には、どのような特徴があり、また、事業者などに積極的に活用してもらうため、どのように取り組んでいくのか聞く。

**答** 全国トップクラスの支援内容であり、制度の周知などに

本制度の特徴は、公共施設の整備に関する用地取得費や整備費に加え、埋蔵文化財の調査費に対しても、2分の1以内を支援するものであり、全国トップクラスの支援内容とした。また、活用促進に向けては、本制度の周知が重要であり、市ホームページへの掲載のほか、地元組織への説明を開始した。今後は、産業団地の整備実績のある民間事業者を対象に、直接訪問による制度説明などを行うとともに、産業団地整備を検討する地元組織に対し、技術的助言を行うなど、民間活力を生かした開発誘導に取り組んでいく。



**問** 今後の女性デジタル人材育成の支援について

国は、女性が経済的に自立できるようにデジタルスキルの向上と就労支援の両面から具体策を盛り込んだ「女性デジタル人材育成プラン」を発表し、就業獲得や所得向上に向け、デジタルスキルを身に付けた女性デジタル人材育成の加速化を目指すとのことである。

全国的にデジタル人材は不足している状況であり、人材育成の支援に早急に取り組む必要が有ると考えるが、今後の女性デジタル人材育成の支援について聞く。

**答** ステップアップ講座の実施や今後の具体的な取り組みを

女性デジタル人材育成の支援に取り組むことは、女性の経済的自立や活躍促進につながるものと考えており、育児や介護で就業していない女性にテレワーク等に対応できるZoomの利用方法を学ぶ講座など、基礎的なデジタルスキルを学ぶ機会を提供してきたところである。4年度は、新たに実践につなげるためのステップアップ講座を実施していく。今後は、策定中の「(仮称)第5次宇都宮市男女共同参画行動計画」の中でデジタルスキルの向上とデジタル分野への就労支援の両面から具体的な取り組みを検討していく。



## 村田雅彦議員6月一般質問



《質問項目》

①LRT工事遅延による市民生活への影響と対策②公共交通ネットワークの充実③温室効果ガス排出量削減 ほか

**問** 燃料・物価高騰で困窮する市民・事業者への支援は

コロナ禍での物価高騰への負担軽減のため、内閣府の地方創生臨時交付金が拡充になったが、その活用について聞く。

①農作物も、石油元売りに対する国の補助金と同様に、燃料や肥料の高騰分を農協への補助金、または農家への直接支給で補償すべきと考えるがどうか。

②プレミアム付商品券事業を実施するに当たり、交通ICカード「torora」を活用する「電子マネー型商品券」の導入を含めた販売方法の検討をしてはどうか。また、発行部数90万冊では全市民に2冊ずつ行き渡らないと思うが、どのように手配するのか。

**答** 事業者や市民ニーズを踏まえよりの確で効果的な支援に

①国では、肥料価格安定に向けた支援などが実施され、県では、県内農業者に対する支援に向け、必要な補正予算案を6月の県議会に提案している。市は、これらの支援策の詳細が明らかになり次第、JAなどと連携し、迅速に対応しながら、必要な支援策を検討する。

②電子マネー型商品券は、事業者の換金手続きが容易であるなどの利点があるが、利用期間の設定や取扱店を市内事業者に限定することが難しいため、従来通り冊子による商品券の発行を予定している。また、90万冊を超える場合は、追加発行について速やかに対応する。

## 渡辺通子議員3月代表質問



《質問項目》

①女性デジタル人材の育成による就労支援②LRTを基軸としたまちづくり③小児へのコロナワクチン接種④子どもの居場所づくり ほか

**問** SNSを利用したいじめ通報・相談システムの導入を

SNSを利用した、いじめ通報および相談システムの導入は、県レベルの対応であるとの認識からこれまで検討されていないが、他の中核市においては、3年8月時点で15%が導入または導入予定であり、徐々にその数も増えている。システム導入に向けての課題である相談員の確保に対しても、相談業務を熟知した委託先の活用なども見込めることから、市でも、いじめの通報および相談システムなどを早急に導入し、いじめの早期発見などに努めるべきと考えるが市の考えについて聞く。

**答** 県で実施しているSNS相談の周知と利用促進に努める

市では、SNSなどによる犯罪被害防止に向け「ネットいじめ等パトロール・相談事業」を実施しており、併せて「いじめ相談窓口ホームページ」を開設している。県では県立高校などの生徒を対象に匿名でも相談を受け付ける「SNS相談」を実施していることから、市では利用対象者に県内全域での中学生を加えるよう要望し、4年度から県内全ての中学生が利用対象となつたことから、市中学生も気軽に利用できるように、県との連携を図りながら、周知と利用促進に努めていく。

